

第1回再生可能エネルギー推進委員会の開催結果について

- 1 日 時 令和4年10月17日（月） 10:00～12:00
- 2 場 所 アートホテル鹿児島 2階 大隅・薩摩の間
- 3 出席者 15人（常任委員9人，特別委員6人）
※委員21人（常任委員15人，特別委員6人）中15人が参加
- 4 議事
次期再生可能エネルギー導入ビジョン策定について
（構成案概要，目標設定案，施策の考え方 等）

<主な意見>

- 県の概況で，風況は陸上しか触れられていない。北薩沖など風況が良くて洋上風力が計画されている現状があるので，洋上についても触れるべきではないか。
- 燃料製造分野について，バイオマスとひとくくりにするのではなく，その内容（木質，残渣，メタン発酵等）を具体的に記載すべきではないか。
- 目標指標を設置容量（GW）単位でみているが，天候の影響で発電できないこともあるので，発電量（GWh）単位で把握する視点も必要ではないか。
- エネルギーをマネジメントする観点から，蓄電池の有効性について記載してはどうか

第2回再生可能エネルギー推進委員会の開催結果について

- 1 日 時 令和4年11月24日（木） 10:00～12:00
- 2 場 所 鹿児島サンロイヤルホテル 2階 高隈の間
- 3 出席者 17人（常任委員12人，特別委員5人）
※委員21人（常任委員15人，特別委員6人）中17人が参加

4 議事

鹿児島県再生可能エネルギー導入ビジョン2023（仮称）素案について

<主な意見>

- 発電設備のメンテナンスを行う人材の育成が重要ではないか
- 再エネ発電の不安定性を補填する蓄電池等について，必要となる容量を具体的に把握することは可能か
- 離島においては余剰電力を外部へ運ぶことや，不足電力を外部から調達することを検討してはどうか
- 再エネ導入時の5W1Hを明確にすることが重要である。特に、誰が（Who）・どのように（How）という視点が欠けているため、これらの点についてももう少し深掘りすべきではないか。
- 県民・事業者に対して再エネ導入を支援するための窓口として、再エネ支援センター等を設置してはどうか。

第3回再生可能エネルギー推進委員会の開催結果について

- 1 日 時 令和5年2月20日（月） 10:00～12:00
- 2 場 所 アートホテル鹿児島 2階 桜島の間
- 3 出席者 20人（常任委員14人，特別委員6人）
※委員21人（常任委員15人，特別委員6人）中20人が参加
- 4 議事
鹿児島県再生可能エネルギー導入ビジョン2023（仮称）最終案について

<主な意見>

- 経済波及効果の試算結果が目標数値と捉えられることで、数値の独り歩きが懸念される。
- 地元理解の促進に向けて、再エネのメリットだけでなくデメリットについてもきちんと情報提供を行う必要があるのではないか。
- ロードマップについてももう少し具体的な取組・期間等を記載すべきではないか。